

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 5 月 23 日 (2019.5.23)

【公開番号】特開 2018-36655 (P2018-36655A)

【公開日】平成 30 年 3 月 8 日 (2018.3.8)

【年通号数】公開・登録公報 2018-009

【出願番号】特願 2017-193521 (P2017-193521)

【国際特許分類】

G 0 2 B 5/30 (2006.01)

G 0 2 F 1/1335 (2006.01)

B 3 2 B 27/00 (2006.01)

B 3 2 B 7/023 (2019.01)

C 0 9 J 7/20 (2018.01)

C 0 9 J 201/00 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 5/30

G 0 2 F 1/1335 5 1 0

B 3 2 B 27/00 M

B 3 2 B 7/02 1 0 3

C 0 9 J 7/02 Z

C 0 9 J 201/00

【手続補正書】

【提出日】平成 31 年 4 月 11 日 (2019.4.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

偏光子と、その片面のみに接着剤を介して積層された保護フィルムと、を備え、

前記偏光子は、厚さが 10 μ m 以下であり、

前記保護フィルムは、所定の形状に成形されたものであり、

前記保護フィルムは、前記偏光子の片面の全面に積層されており、

前記偏光子の少なくとも一部の端部が、前記保護フィルムの端部よりも 1 ~ 500 μ m 内側に位置している、偏光板。

【請求項 2】

前記偏光子は、厚さが 7 μ m 以下である、請求項 1 記載の偏光板。

【請求項 3】

前記偏光子の全ての端部が、前記保護フィルムの端部よりも内側に位置している、請求項 1 又は 2 記載の偏光板。

【請求項 4】

前記偏光子における前記保護フィルムが積層されている側とは反対側の面、及び、前記保護フィルムにおける前記偏光子が積層されている側とは反対側の面の少なくとも一方の面に積層された粘着剤層を更に備える、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項記載の偏光板。

【請求項 5】

前記粘着剤層を介して積層された光学機能フィルムを更に備える、請求項 4 記載の偏光板。

【請求項 6】

前記光学機能フィルムは、反射型偏光子である、請求項 5 記載の偏光板。

【請求項 7】

請求項 1 ～ 6 のいずれか一項記載の偏光板を備える液晶表示装置。